

提出意見集（名古屋会場）

- 1 日時 平成14年5月24日（金） 13:00～17:00
 2 場所 名古屋市 愛知県水産会館 大会議室

	氏名	所属	役職 職業	性別
名古屋 1	芳賀 幸雄	雨水利用と緑化を進める会		男
名古屋 2	堀 恒世	特定非営利活動法人 夢創イノビター	理事長	男
名古屋 3	井上祥一郎	株式会社エステム	技術士 環境カウンセラー	男
名古屋 4	小柳津 弘			男
名古屋 5	小林 良二	環境カウンセラー岐阜の会	環境カウンセラー	男
名古屋 6	伊東 友夫	三重県津地方局生活環境部		男
名古屋 7	小林由紀子		コーディネーター 主婦	女
名古屋 8	広瀬 幸雄	名古屋大学環境学研究所	大学教授	男
名古屋 9	長野 義春	特定非営利活動法人メセコヤの森の仲間たち	専門職員 環境カウンセラー	男
名古屋 10	山川 幹子	稲沢ゴミ0会		女
名古屋 11	棟羽 亮	日本労働組合総連合会 愛知県連合会	連合職員	男
名古屋 12	篠田 陽作	ネイチャークラブ東海	代表	男
名古屋 13	堀 孝弘	特定非営利活動法人環境市民		男
名古屋 14	小林 義明	特定非営利活動法人緑の地球		男
名古屋 15	神下 豊	名古屋市環境局環境都市推進部 環境都市推進課	課長	男

（リストは受付順で作成。網掛は意見発表者）

名古屋 16	矢野 民朗	環境管理事務局（ISO14001事務局）	課長 環境カウンセラー	男
名古屋 17	石川 智恵子			女
名古屋 18	本田 量子	NPO法人ガラ紡愛好会		女
名古屋 19	米村 輝子	福井県大野の水を考える会	会員 大野市議会議員	女
名古屋 20	南 清	三重県環境部環境創造活動チーム	チームマネージャー 公務員	男
名古屋 21	加藤 智	東邦ガス（株）環境部 環境推進グループ	会社員	男
名古屋 22	萩原 喜之	NPO法人 中部リサイクル 運動市民の会		男
名古屋 23	松田 富佐子	めいきん生協	非常勤理事	女

（リストは受付順で作成。網掛は意見発表者）

提出意見

名古屋 01

氏名： 雨水利用と緑化を進める会
芳賀 幸雄（ハガ ユキオ）

性別：男

勤務先等：

発表を希望される開催地：愛知県

ボランティア活動は、行政と住民とのパートナーシップを手助けする役割を担うもの。環境保全活動に限らず、ボランティア活動の活性化とは「笛吹けど踊らず」でなく、「笛吹けば踊り出す」形にすることです。大勢の住民が参加すれば、ひとりでの活性化に繋がります。そのための方策を述べます。

- ・地球環境の保全の重大性に関する住民への啓蒙
- ・行政側のアカウンタビリティの向上
- ・住民の自主的行動を促進する主体的自治能力の育成
- ・行政と住民とのパートナーシップの強化
- ・危機管理プログラムの制定
- ・ボランティア活動の自主的評価手法の確立
- ・ボランティアコーディネーターの育成強化
- ・ボランティア活動資金の支援
- ・環境保全対策の実践者に対する助成制度の拡大
- ・工学系のみでなく、建築・農業・造園等の専門化を加えた幅広いワークショップの組織づくり

環境保全活動に限らず、ボランティア活動の活性化とは、「笛吹けど踊らず」でなく、「笛吹けば踊り出す」形にすることです。大勢の市民が参加すれば、ひとりでの活性化に繋がります。一般論としてのその方策を10項目提案します。

一般論としてその方策を10項目提案します。

1. 勉強会や研修会で、黄信号の地球環境の保全の重大性を、分かり易く説明する。
2. 地球温暖化防止（CO2削減など）に、ささやかでも貢献できるという誇りをもたせる。
3. 実行したこと参加したことが環境保全に役立っていることを話して理解してもらおう。
4. 事例を公開して、メリットが得られると考えるように仕向ける。

- 5 . 実践者の知識やノウハウの話を聞くセミナーを、頻繁に開催する。
- 6 . 実行するための資金を、低利または無利子で貸し付ける制度や補助金を交付する仕組みをつくる。
- 7 . 最初の投資が、数年経てば必ずペイすることを理論的に理解させる。
- 8 . ボランティア活動が「如何に生きがいがあるか」の話題を提供する。
- 9 . いろいろな集会の開催は、市民が参加し易い日時を考えて選ぶ。(マーケット
インの考え)
- 10 . 杓子定規のようではなく、僅かの予興やみやげ等を加えて、市民に参加しようとする気にさせる。

提出意見

名古屋02

氏名：堀 垣世

性別：男

勤務先等：特定非営利活動法人 夢創エヌ・ピー・オー 理事長

発表を希望される開催地：愛知県水産会館 5階 大会議室

意見：

環境保全活動の活性化への施策が促進することはとてもよい事だと思います。特定非営利活動法人夢創エヌ・ピー・オーは、自然に育まれ、自然から学び、自然の中に生かされているという視点で「もったいない」を行動規範として、エコフロンティアに挑むNPOとして環境保全を図るため協働実践をして取り組んでいます。

地球環境問題は多様かつ複雑です。

「地球からの環境創造立国」を実現するには、私たちも自然の中（環境）に生かされているという持続可能な視点行動ではないでしょうか...

そのためには、すべての国民に支えられる環境保全基盤を確立するためのエコマーク基金とか環境税等の施策も検討されては如何でしょうか。

ちなみに私たち夢創NPOは地域特性環境を活かし（自然エネルギーの創出技術の確立や、生態系の保全等環境保全に係る諸活動を実践しています。

このように環境へのキーワードを担うには自活、自立、自主透明性のある環境保全活動の活性化を実践できる施策が一日も早く実践することではないでしょうか。

提出意見

名古屋03

氏名：井上 祥一郎

性別：男

勤務先等：株式会社 エステム

発表を希望される開催地：名古屋市

意見：

水圏環境の修復を例に取れば、底質改善は浚渫、覆砂等が各所で実施されていますが結果が得られていない状況にあり、この分野への具体的な解決策、代替案を提案しております。しかしながら専門家及び研究者は他者の技術を評価することを避ける傾向があり、行政も慎重に慎重を重ね、技術士試験で再現性・有用性が担保された技術でも、個人やNPO・NGO、中小企業等の提案採用には責任回避的で、新技術を使った展開には一般的に及び腰です。これでは小生自身が関わりたい環境保全活動の活性化には繋がりません。

上述の論点整理9ページには運営体制を担う組織体の設立が謳われています。ここで求められる人材及び機能として、種々の「環境保全技術」を客観的に評価でき、その実施にも責任が持てる事項を盛り込んでいただきたいと思います。三重県が現在公募中の「熊野地方地域興しコーディネイター制度」にもそんな点を期待している所です。

以上

提出意見

名古屋 04

氏名：小柳津 弘

性別：男

勤務先等：無

発表を希望される開催地：愛知県

意見：

ゴミ問題について

1. 私は15年間、川や道のゴミ拾いをしていたが、現在挫折してしまってやめている。
2. 田原町もよくやってくれているが、限界がある。
3. 根本的解決法は以下のようなものであると思う。
 - 現在、ゴミ処理は、地方自治体が責任を持たされているが、国が責任を持つべきである。
 - 国は、企業を指導して
 - a. 処理困難なものを（例えば塩ビ）作らないようにする。
 - b. 作ったものは、最後まで処理責任を持つこと。
（スウェーデンの製造者責任制度のように）

添付資料 - 挫折した「清谷川ゴミミリ運動」

提出意見

名古屋05

氏名：小林 良二（コバヤシ リョウジ）

性別：男

勤務先等：環境カウンセラー（環境カウンセラー岐阜の会・会員、
中部環境計量士会・役員
大垣市環境市民会議・会員
環境コンサルタント会社・非常勤）

発表を希望される開催地：名古屋市

意見：

「環境保全活動の活性化を検討するための論点整理」に示されたことに、賛同するが追加的事項、具体的事項について提言する。1. 人・刺激（インセンティブ）：全ての人、家に帰れば市民である。多くの人・組織が熱心な環境保全活動をされているが、大部分は理解はするが実行しないから～無関心である。多くの人に活動参加させるための刺激が必要である。人間本性（二千数百年前の、テオプラトス著・人さまざま に示されるように変わっていない）に迫る事が必要。具体的には環境税（増税、減税）を、大枠を決めて細部は地方に任す。 2. 事業者へ：循環型社会の法制度は実行されているが、国全体のごみ処理事業費2兆2,490億円（平成10年）（地方財政決算からは2兆8,234億円で、地方財政の2.8%。これは警察費3.4%消防費1.9%に比較すると警察費に匹敵）の重さより、時代の流は拡大生産者責任にシフトしていかざるを得ない。早急に技術革新、管理技術を駆使して対応することは経営改善として必須。 3. 地方自治体へ：地域最大のサービス産業の意識で環境負荷軽減、改善に率先垂範の成果をあげること。（ISO14001, 14031（あるいは環境活動評価プログラム）行政機関が行う政策の評価に関する法律等の活用。）4. 以上1, 2, 3の合作による地域の環境活動活発化。

提出意見

名古屋06

氏名：伊東友夫

性別：男

勤務先等：三重県津地方県民局 生活環境部

発表を希望される開催地：名古屋市

意見：

今、「環境問題は、今までの地域的な公害問題から、地球規模の環境問題へと変わってきております。私たちは、公害の被害者から地球環境汚染の加害者であるという認識に立たねばなりません。生活様式を無駄を無くしたものに換え、循環型社会を形成せねばなりません。」と言われておりますが、方策を誤ってはなりません。自然の循環でしかこの問題を解決できないことを知らねばなりません。多くの人々は、環境保全に関心であり、多くの子供たちは、自然に親しむことに興味を持っておりません。古来私たちは、自然と謙虚に共生するものとして、生活してきました。自然に親しみ、自然の仕組みを知り、自然の神秘に畏敬の気持ちを持たねばなりません。子供たちに対する環境教育の場は、親子共々、環境を自ら観察、測定させるものとするのが効果的でしょう。自然に親しむことの少なかった世代の人々が、親となる年齢となっております。急がなくてはなりません。

提出意見

名古屋07

氏名：小林 由紀子

性別：女

勤務先等：主婦

発表を希望される開催地：名古屋

意見：

私は現在、ボランティアとして、岐阜市消費生活センター環境講座のコーディネーター、小中学校の総合学習の講師等をしています。以前は、地球環境問題や、接続可能な社会という大きな問題と地域活動や学校の体験活動をつなぐことを難しく思っていました。でも、地域の活動や自然、今までの学習、また、年齢や環境知識のリテラシーに応じたプログラムを組むのは大変ですが、とてもやりがいがあります。そこで、興味のあることや身の回りの事から発し、日本、地球の環境問題に至り、自分に何ができるか考えてもらえるには、どういう講座を組んだら良いのかと考えました。

現在は、ワークショップ、ブレインストーミングの手法や、クラフト体験、生涯学習ボランティアの手法を使って講座を組んでいます。体験や見学のコースを組み合わせてから参加者には楽しい分かり易い講座だと言われるようになりました。

これからも、このような講座の場を広げていきたいと思います。

提出意見

名古屋 08

氏名：広瀬 幸雄

性別：男

勤務先等：名古屋大学 環境学研究科・教授

発表を希望される開催地：名古屋

意見：

別紙に発表要旨のパワーポイントを添付しました。

**環境保全活動活性化のための
環境学習とは**
グローバルな態度とローカルな行動を
育てるために

広瀬 幸雄
(名古屋大学環境学研究科)

環境学習の目的

地球規模や地域における環境と人間との
相互依存についての認識を深めること
環境への配慮や保全に積極的に取り組も
うとの態度を養うこと
環境保全や環境配慮の具体的な行動の
ための知識・技術を身につけること
具体的な行動をとることにより、環境に関わ
るエンパワーメントを獲得すること

**親や学校での環境教育と
こどもの環境意識行動の調査**
(依藤・広瀬)

- ごみについての学校教育の効果は
あまり大きくない？
- 環境についての親子の会話は子ども
の意識に少し効果がある
- モデルとしての親の行動こそ、子ども
の行動に大きな効果がある！

環境学習に何が必要なのか

- 環境問題の知識を教えるだけでは、具体
的な保全行動につながらない
- 自分たちの行動と環境との関連が目に見
える形で実感できないと興味はわかない
- 小さな活動でもそれによって達成感が体験
できることが必要だ
- 一人ではなく、みんなと協力して保全に取り
組めれば、勇気をえることができる

環境学習の新たな課題

- 体験型であること
WHY? 環境と人間活動の複雑な因果連
関を具体的な体験として理解できるから
- 参加型であること
WHY? 環境保全への主体的な取り組み
によって、エンパワーメント(やればできる
の自信)を高めることができるから

**では具体的にどんな
環境学習がいいのか？**

- 環境ゲームによる仮想体験
複雑な環境問題とゲームの面白い体験を
つなげることで、環境保全への関心とやる
気を高められる
- 環境ボランティアとしての地域活
動への参加
環境保全の体験による技能・能力を高め、
多くの人との協働ネットワークができる

提出意見

名古屋09

氏名：長野 義春

性別：男

勤務先等：特定非営利活動法人メタセコイアの森の仲間たち 専門職員

発表を希望される開催地：名古屋

意見：

1. はじめに

私は、1990年より財団法人、社団法人の職員として、環境教育を専門とした仕事をさせて頂いており、現在は特定非営利活動法人で環境教育を中心とした専門職員として仕事をさせて頂いております。

約10年間NPO(NGO)の職員として仕事をさせて頂き、環境庁野生生物保護対策検討委員として、日本政府と豪国政府の共同事業「アジア太平洋地域渡り性水鳥保全戦略」の立ち上げに参画させて頂き、各条約締約国会議の場や、環境カウンセラーとして、あるいは総合環境学習ゾーンの事業などで環境省の皆様とお仕事をさせて頂きました。環境省の皆様方の苦悩と努力についてはよく存知上げているつもりであります。当然NPO(NGO)の職員として諸外国の大規模なNPO(NGO)をはじめ、国内の草の根的なNPO(NGO)との付き合いも多く、日本のNPO(NGO)がどのような現状にあるかも体験的に存知あげているつもりであります。

以上の経験から、日本のNPO(NGO)の育成の為に何をなすべきか、浅はかながらご意見を申し上げます。

1998年に特定非営利活動促進法(通称NPO法)が施行されて、日本では急速にNPOが注目を受け始めました。10年前と比較すると、NPOに対する期待の大きさも強く感じられます。多くのNPOが誕生していますが、今後は専門家集団として政策提言が行え、行政や企業とパートナーシップを組めるNPOが育つきっかけを作る必要があるものと考えます。

2. 提言の背景

持続可能な社会を構築する取組を進めるために国、地方公共団体、事業者、国民、民間団体が役割分担による連携、パートナーシップは、単にそれぞれの主体が期待される役割の部分を果たすことのみならず、各主体相互間の働きかけ、相互作用によって形成、維持されます。

岐阜県においては、民間団体が県と協働して地域のために行う自主的、主体的な地域づくり等のグループ活動を支援する「県民協働型県政推進事業」などの事業を実施し、パートナーシップ構築を図っています。

しかし、いつまでも国や県の財政に頼るパートナーシップではなく、民間団体も自立し、行政と対等なパートナーシップを組める事を目指して、知識的にも技術的にも向上する必要があるものと思われまます。

環境NPOが知識的にも技術的にも行政と歩調を合わせ対等にパートナーシップを組む事を目指し、財政的にも技術的にもスキルアップをはかる人材教育を行う必要があるものと考えます。

3 . 提言の概要

全国数箇所（例えば北海道にて1箇所、東北にて1箇所、関東にて1箇所、甲信越地方において1箇所、東海北陸地方において1箇所、関西にて1箇所、中四国地方において1箇所、九州地区にて1箇所）において、合宿型でワークショップ形式による相互学習を中心としたセミナーを開催し、自立したNPOの人材育成を行う。

エンジニアコースからスタートし、5ヵ年間でステップアップしながら、各セミナーのカリキュラムに従って受講して頂く。

環境NPOエンジニアセミナー（初級）

NPOの構成員として必要な基礎的な知識と技術を身につける

環境NPOディレクターセミナー（中級）

NPO内の中間指導者として必要な基礎的な知識と技術を身につける

環境NPOプロデューサーセミナー（上級）

NPO内の上級指導者として必要な基礎的な知識と技術を身につける

環境NPOマネジメントセミナー（特別級）

運営（設立）、人材育成など持続可能なNPOに必要な基礎的な知識と技術を身につける

国家政策提言セミナー（特別級）

国際的な視野に立ち、途上国の支援や途上国とのパートナーシップなど日本国の環境NPOとして国際協力できる人材を育成する。

4 . 具体的な人材育成内容

全国数箇所（例えば北海道にて1箇所、東北にて1箇所、関東にて1箇所、甲信越地方において1箇所、東海北陸地方において1箇所、関西にて1箇所、中四国地方において1箇所、九州地区にて1箇所）において、合宿型のワークショップ形式による相互学習を中心としたセミナーを開催し、自立した環境NPOの人材育成を行う。

エンジニアコースからスタートし、5年間でステップアップしながら、各セミナーのカリキュラムに従って受講して頂く。

環境NPOエンジニアセミナー（初級）

NPOの構成員として必要な基礎的な知識と技術を身につける

カリキュラム 環境 NPO の概念、環境問題の理解、環境問題と社会や文化との関わり、環境問題に関する科学的知識と技術の基礎知識、環境 NPOの構成員としての役割、環境教育の様々な事例

合計 10 時間（2 日）×全国 8 ヶ所

環境NPOディレクターセミナー（中級）

NPO内の中間指導者として必要な基礎的な知識と技術を身につける

カリキュラム 環境NPOの役割、環境問題とNPOの歴史、環境問題解決のためのターゲットの分析、環境問題解決に向けての科学的知識と技術の応用、環境問題と地方自治体との役割、環境NPOの構成員のマネジメントに必要な知識、環境教育の技術、環境問題解決のケーススタディ

合計 14 時間（3 日）×全国 8 ヶ所

環境NPOプロデューサーセミナー（上級）

NPO内の上級指導者として必要な基礎的な知識と技術を身につける

カリキュラム 環境NPOと地方自治体や企業とのパートナーシップ、環境問題と法律との関わり、環境問題と国との役割、企画立案者としての必要な知識、広報普及活動に必要な知識、ボランティアマネジメント、環境教育の企画

合計 14 時間（3 日）×全国 8 ヶ所

環境NPOマネジメントセミナー（特別級）

運営（設立）人材育成など持続可能なNPOに必要な基礎的な知識と技術を身につける

カリキュラム 環境NPOと国とのパートナーシップ、環境NPOの設立方法、環境NPOの税務、労務管理、環境NPOの会計、資金調達方法、事業展開方法、事務局管理、政策提言、人材育成の手法

合計 20 時間（4 日）×全国 8 ヶ所

国家政策提言セミナー（特別級）

国際的な視野に立ち、途上国の支援や途上国とのパートナーシップなど日本

国の環境NPOとして国際協力できる人材を育成する。

カリキュラム 環境NPOと諸外国とのパートナーシップ、国連との連携、国際NGOとの連帯、環境国際法、国家間の調整、環境NPOの国際的連携、途上国支援、国際問題、国際条約への提言、国際理解教育の手法

合計20時間(4日)×全国8ヶ所

1ヶ所当たりの店員120名 対象 環境NPOに関心のある方
以上のカリキュラムをすべて受講した者については、環境省より修了証を授与して頂きたい。

修了者は、環境省において登録し、環境NPOの人材バンクとして公開する。

5. 期待される効果

本事業を実施する事により国及び地方公共団体、事業者、国民、民間団体の相互間の働きかけの中で、環境保全の必要性についての共通意識が生まれ、互いに互いの立場を知り、専門的な事項について学び、解決策を共に探ることが行われ、各主体がそれぞれ強く責任を持つことができ、役割の分担と連携が社会に根付き、環境の持続的な管理につながっていくことができるNPOの人材が育つきっかけとなる。

6. さいごに

持続可能な社会を構築する取組を進めるため、国及び地方公共団体、事業者、国民、民間団体の相互間の働きかけの中で、環境保全の必要性についての共通意識が生まれ、互いに互いの立場を知り、専門的な事項について学び、解決策を共に探ることが行われ、各主体がそれぞれ強く責任を持つことができ、役割の分担と連携が社会に根付き、環境の持続的な管理につながっていくことが期待できるNPOの人材育成を行うことが目的であり、この主旨を広く理解して頂くためにもマスコミなどを通じて、事業実施の広報を十分に行う必要があるものと考えます。

1ヶ所当たりの参加者は140人であっても、広く広報する事で、パートナーシップの考え方が一般にも知らされる事になるものと考えます。

以上の提案は、環境省が募集している平成14年度NGO/NPO企業環境政策提言募集にも提出しています。

追記 この提案書はFAXとE-mail両方で提出しています。

提出意見

名古屋 10

氏名：山川 幹子

性別：女性

勤務先等：

発表を希望される開催地：愛知県名古屋市

意見：

- 1 . 国、地方自治体における民間団体、環境保全活動に対する支援は、各府省の位置づけはされていても、実際現場の活動の中では不十分で、実感されるものではありません。(人材・拠点・財政支援等)
- 2 . 環境保全活動に関わる人材の育成も必要ですが、今後、行政との協働を進めていく上では、行政担当者の専門知識も必要となってきます。企業も含めて協働を進める上での、三者がお互いに学び合う機会が必要ではないかと思えます。
- 3 . 民間団体の活動、運営は会費で行われており、補助金、基金等の助成が無ければ年間事業以外の記念事業等は開催できません。
私共「稲沢ゴミ0会」が開催している「ゴミ0フェアいなざわ」に対して再三地球環境基金へ応募いたしましたが、「幅広い効果が得られない」という理由で返事をいただきました。地域における効果では幅が狭いのでしょうか。幅広いという意味は、全国レベルでないといけないのでしょうか。であるならば、環境保全活動活性化の基本的考え方の(4)にある地域からの環境創造立国と、どう整合性がとれるのか理解できません。
- 4 . 地域の環境保全活動が、地域づくり、まちづくりの中で果たす役割は大きく、環境行政のみならず、教育・福祉等、幅広く横断的に連携を保った施策が必要であると考えます。

提出意見

名古屋 1 1

氏名：棟羽 亮 (ムネ アキラ)

性別：男

勤務先等：日本労働組合総連合会愛知県連合会（連合愛知）

発表を希望される開催地：愛知県

意見：

連合愛知の組織

連合愛知は、48の構成組織で53万人の組合員が加盟している労働組合のセンターである。

連合愛知は、連合の活動を愛知県下で展開するために12の地域協議会を設置している。

連合愛知の活動

1. 熱意と情熱で組織の拡大・強化
2. 生活と雇用を改善する地域政策の実現
3. 労働者・生活者の視点で統一した政治力の前進
4. 信頼と期待に応える国民運動

民間団体等の環境保全活動の活性化

特定テーマについて政策提言を行うもの
地域において具体的な活動を実施する人の集まり

1990年 都市問題、環境問題として「ごみ」問題への提言を行政等に対し、
提言

【別紙参照 - 1】

1994年 あいちペーパーリサイクルアクション（ごみ減量化・リサイクル
実践行動）提言

【別紙参照 - 2】

1998年 愛知環境リサイクル社会構築宣言を提言
（世界に誇れる21世紀の循環型地域経済社会づくりにむけて
私たちは取り組みます。）

【別紙参照 - 3】

- ・環境との共生を可能にするのは私たちの実践です。
- ・世界に誇れる環境リサイクル社会を築きましょう。
- ・私たちは行動します。

【愛知スタイルの実行】

一人ひとりができる、身近な可能な行動を確実に実行して、ひとつずつ増やしていくようにしましょう。

【1組合1行動】

労働組合の行動として、環境美化、清掃、資源の回収、不要品の交換など創意工夫をこらした計画をたて、ひとつ以上、独自の環境行動の実行をはじめましょう。

一人ひとりの意識の改革をめざして、だれもが参加可能な行動にしましょう。

【連合愛知の総行動】

連合愛知・地域協議会のクリーンキャンペーンや530運動の経験を踏まえて、地域と職場から53万人の組合員が参加して実行できる、インパクトとアピール性のある全県的な規模での1日行動に参加しましょう。

- ・環境リサイクルアクション in 白川公園 2000年9月10日(日)
- ・環境リサイクルアクション in 久屋広場 2001年9月15日(土)

【子どもたちとともに】

ライフスタイルは家庭から皆で変えていく事が大切です。

とくに地域や学校でも、子どもとのふれあいを通じた環境行動を一緒に起こすよう心がけましょう。

提出意見

名古屋12

氏名：篠田 陽作

性別：男

勤務先等：愛知県環境審議委員・ネイチャークラブ東海代表

発表を希望される開催地：愛知県

意見：

環境保全活動といえばゴミや空き缶、リサイクル、省資源がまず出てきますがその前になぜ環境保全が必要なのか？環境を保全するとはどんなことなのかと言う基本的な理解とそれらを支えている地球の自然の仕組みを理解と体験から感じる必要があるのです。

そのためには幼児期からの自然体験と自然体験型の環境教育がベースにあり、それらの基礎をもとにした価値観やライフスタイルの変更が結果として環境保全活動につながってゆくのだと思います。

現在の環境保全活動は、木に竹を接ぐような唐突な面があり、活動も実行も納得して自ら進んで行うのではなく、騒ぎ立てられながら、良く理解しないまま行っているために長続きしなかったり、基本的な部分での間違いや勘違いの上に成り立っているような中途半端な保全活動が目立ちます。

本来、環境保全活動とは、社会の構造やベースの部分からの改革や、私たちの暮らし方そのものを変えてゆくことが必要な作業だと思っています。

そのためには、環境教育を正しく行うシステムの構築や、人材の養成そのための施設やフィールドの整備が必要だと思っています。

提出意見

名古屋13

氏名：堀 孝弘

性別：男

勤務先等：特定非営利活動法人 環境市民

発表を希望される開催地：名古屋（5月24日）

意見：

「特定非営利活動促進法（以下 NPO 法）制定の理念・目的が活かされているか、検証が必要であろう。

たとえば寄付金の損金参入などの優遇税制の認定には、寄付が現在の収入に一定割合以上占めることが要件になっているが、会員の会費による運営を基本に活動してきた団体が制度の恩恵を受けられないなどの問題が発生している。

また自治体の事業委託の条件に、NPO法人格取得制度が暗黙に求められる場合もあるが、その一方、他の公益法人に認められている「みなし寄付」が認められていないなど、現状「弱いところから確実に税をとる」制度として、NPO法が機能している側面がある。これらについて改革の必要性を感じるものである。

また、「環境保全活動の活性化を検討するための論点整理（以下「論点整理」）、「4．具体的施策の考え方」の中で、地域活動の核を担う組織体設立の必要性が述べられているが、ここに「ローカルアジェンダ21」等、地域社会ビジョンが見えてこない。

環境保全活動を活性化することの目的のひとつに地域レベルからの持続可能な社会づくりがあると思う。

それを実現するため、各セクター間での協同が必要だが、その中でNPOは先進的な役割を果たすことができうるようになってきている。そのようなNPOのもつ先進性への評価が、上記「論点整理」全体を通じて弱いと感じる。

特に、実践活動や独自調査に基づく政策提言能力をもつNPO（法人格の取得の有無に関わらず）の育成は重要であるが、例えば「環境NGO総覧」においても、地域のボランティアサークルとNPOが同列で記載されているなど、環境保全活動活性化の目的がどこにあるのかわかりにくい面もある。ここの整理がなされないと、市民活動が現在の高負荷型社会の安定装置（後始末と言うか）にして位置付けられる懸念も感じる。

その他、市民活動への助成についても思うところがあるが、5月24日名古屋でのヒアリングで発言させていただくことにする。

提出意見

名古屋 14

氏名：小林 義明

性別：男

勤務先等：非営利活動法人 緑の地球

発表を希望される開催地：名古屋市

意見：

私たちが地球環境問題に関わるNPO法人を設立し、運営している経験から意見を述べる。私はこの問題の検討に当たり、次の条件を前提において考えたい。環境NGO/NPO等の民間団体は政府や行政から独立した存在であり、その独立性の故に、それは存在価値がある。日本では、こうした民間団体の発達が遅れているといわれるが、その原因は、政治の問題は政府や行政まかせにする等の社会風土によるところが大きく、原因の改善なくして性急な変化は望めない。当面、対症療法的な施策が必要である。

環境保全活動の活性化のためには、多くの協力的な民間団体の存在は不可欠である。そのための国、自治体の支援は必要であるが、それは民間団体の主体性の保持を前提に、実施する必要がある。例えば、資金援助や教育は団体が希望するものに与える。団体は自己の情報収集・調査能力が必要。団体間のネットワーク化は自然発生的なものである。

提出意見

名古屋 15

氏名：名古屋市環境局環境都市推進部環境部都市推進課長 神下 豊

性別：男

勤務先等：名古屋市役所

発表を希望される開催地：名古屋市

意見：

環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築を目指すうえで、グリーン購入の普及促進はきわめて重要であり、そのためには、市民一人ひとりの日常生活における「グリーンコンシューマー」としての自覚を持った行動が大切である。

グリーン購入については、環境への配慮の入り口として、各主体の効果的な連携のもとにその推進が図られるべきものであり、本市においても市民・事業者・NPOとのパートナーシップのもと、ノーレジ袋、買物袋持参運動はもとより、環境配慮商品の普及促進とその市場拡大、さらには、グリーンコンシューマー・グリーンカンパニーの育成に向け、様々な取り組みを展開しているところである。

今後、こうした取り組みを拡大し、効率的に推進していくためには、自治体の枠を超えた広域的なネットワークを構築し、企業・NPOとも連携を図り、地域に密着したグリーン購入の普及促進を積極的に展開していくことが必要である。

提出意見

名古屋16

氏名：矢野 民朗（ヤノ タミオ）

性別：男

勤務先等：神鋼造機株式会社 総務室 環境管理事務所（ISO14001事務所）

発表を希望される開催地：名古屋市

意見：

私は、ISO14001事務局、環境カウンセラー、大垣市環境市民会議メンバーである。

地域活動促進の基盤整備について

- 1) 組織体のネットワーク化
 - ・多種多様な活動をしている公と民の各主体が参画・協働するためのつなぎ役を果たす協働コーディネーターが必要。
 - ・社会貢献意識の高まりを含めてパワーアップが重要。
- 2) 拠点の整備
 - ・点定での活動拠点が無い、公共施設での無料化を希望
 - ・教室には器材等の整備が必要
- 3) 多様な人材の育成と発掘
 - ・計画作成・運営が出来る人材の配置が重要
 - ・企画・運営等は企業退職者が適任でありその発掘が必要
 - ・活動や協働をコーディネート出来る人材育成制度が必要
- 4) 環境関連情報及び教材の不足
 - ・ソフト面はインターネットがあるが、それをハード化する器材が必要
 - ・定期刊行物の情報整備及び学習教材が必要
 - ・発表のための器材整備が必要
- 5) 活動資金的支援
 - ・民のグループでは活動範囲の拡大が重要

以上

提出意見

名古屋 17

氏名：石井 智恵子

性別：女

勤務先等：

発表を希望される開催地：名古屋

意見：

1. 誰もが参加しやすく、事業者責任の解りやすいモデルケースとして古葉書のリサイクル化を!!
我家4人で年賀状が約1,000枚でした。各郵便局に密閉型回収箱を設置。住民は葉書の発信人or受取人のどちらかを削除して回収箱へ.....。
2. ゴミ袋による回収の見直しを!!国も市民も意識改革を!!
焼却処分されるゴミをポリ袋に包み、ビニール製ゴミ袋に入れて出すこのゴミの過重包装が日常化し、ポリ袋はゴミ出しの必需品です。生ゴミの水分も減量することは出来ない。生ゴミをぬらさない工夫を広め、堆肥化資源として生ゴミを認識して欲しい。国民も、生ゴミはズブズブの20世紀の意識のままでは、そうした生活のままでは、エコライフ運動は進まないと思う。
3. ゴミに対するPRの内容について
 - a. ゴミを出したのは、政府でも町でもなく、私たち、ひとりひとりが出したものと認識させる。
 - B. 「ひとりぐらいやっても」でなく、ひとりひとりの実行が、緑の地球を守る大河となる。
ひとりからの実行を大切にしてほしい。<14年前、パック1枚から始め、100トンに!!>
 - C. 生ゴミのぬらさない方法は、川をも汚しません。
 - D. 家庭園業に精出す汗は家族と地球を守るとてもすばらしい方法です。
<人は一つのことが、クリア出来ていると認識すると、次の段階に挑戦されます>
4. 「ボランティアの人は熱心やでネー」と感心しないで、行政、公務員、教職員...の方々、先ずエコバッグを持って率先垂範を!!

提出意見

名古屋18

氏名：本田 量子

性別：女

勤務先等：NPO法人 ガラ紡愛好会

発表を希望される開催地：愛知県水産会館

意見：

公開ヒアリングのお知らせをいただき有難うございました。
論点整理の資料を拝読いたしました。言うまでもなく、とても立派な指針です。唯、私共主婦には難しい論文です。私のような主婦が環境を左右する消費生活を荷なっているわけです。

そこで1つ提案です。主婦も含むみんなで環境対策をと強く思われているのなら、難しい事をもっと分かりやすく出していただけませんか。

世の中の半分は主婦です。今、正しい選択の目を持つ賢い主婦を増やさないと、環境どころか子どもの生命をつなぐことも難しい時代に突入したのではという危惧を感じないではいられません。

何の知識はなくとも、多くの主婦が環境対策は「言うこと」ではなく、「やること」と分かっています。それも日常生活の中で普通に。

これから行なっていく上で、今の母親の意識がそのまま我が子に移り、その生き方が後々まで影響するなら、先の為にも、先人の知恵をおかりし、自然と照らしあわせながら生きてみることに、大きなヒントがあるように思えます。如何でしょうか。

今後も、色々のご指導いただきながら、活動を進めてまいりたいと存じます。宜しく願い申し上げます。

提出意見

名古屋19

氏名：米村 輝子

性別：女

勤務先等：福井県大野の水を考える会・会員。 大野市議会議員

発表を希望される開催地：愛知県名古屋市

意見：

「環境保全活動の活性化方策に関する意見」

- ・福井県大野の水を考える会は、昭和52年に発足し、以来良質の地下水を守るために、活動を継続しています。
井戸枯れの実態調査、融雪設備の状況調査、市内の湧水調査、水質調査、地下水位観測など、各々調査、分析し、啓発活動をし、行政への働きかけをしてきました。
- ・シロウト・サイエンスと評価され、行政も施策に反映するなど協働をしていますが、それは対症療法的なことが多く、大型の公共事業等の根幹に位置付けられてはいないように感じます。
- ・今後は、行政も広く深く情報を開示し、市民と同じテーブルで協働するという真のパートナーシップの構築が望まれます。
行政と市民がいっしょに現場調査し、結果を検討し合える体制ができることを希望しています。

提出意見

名古屋20

氏名：南 清

性別：男

勤務先等：三重県津市広明町13番地 三重県環境部 環境創造活動チーム

発表を希望される開催地：名古屋

意見：

21世紀に入り地球環境問題への関心は高まりつつあり、各地では様々な取り組みが行われている。

地域で取り組まれている環境保全事例の中には、広域的、全国的に展開した方が効率がよく効果の高いものがある。地球温暖化防止など、各個人ができる貢献は小さいが多くの人々で取り組むことによって初めて大きな成果に結びつけることができるものについては、都道府県境を越えて市民が参加できるような全国共通のルール作りが強力な促進剤となる。

三重県においては、全県的な県民運動として夏期に電気使用量の節減を呼びかけるエコポイント事業、またNPO主導でレジ袋ゼロ運動等に取り組んでいる。しかし、こうした取り組みは、県内にとどまらず広域的、全国的に行った方が効果的である。愛知・岐阜・三重の三県と名古屋市では、これまでそれぞれに行ってきたグリーン購入を一緒に取り組んでいくこととしているが、デポジット制度やペットボトルの再使用の促進、アメリカで行われているカーブール制度等について、全国的に取り組むための法整備等の仕組みづくりをお願いしたい。

提出意見

名古屋 2 1

氏名：加藤 智

性別：男

勤務先等：東邦ガス株式会社 環境部 環境促進グループ

発表を希望される開催地：名古屋

意見：

東邦ガスはエネルギー供給事業者として、地球温暖化対策・循環型社会構築への貢献を目指し、環境保全への取り組みを進めています。

- (1) 当社工場では、LNGの導入でエネルギー効率の飛躍的向上による省エネルギーが進みました。また、産業廃棄物の発生抑制・リサイクルを進めています。
- (2) 当社オフィスでは、パソコンや照明の電源を不要時に切るなど職場での省エネルギーと、紙資源のリサイクルを行っています。
- (3) お客さま先では、燃焼時のCO₂発生量が化石エネルギー中最も少ない天然ガスの拡販と、高効率なガスコージェネレーションシステム等の省エネルギー機器の普及拡大で、CO₂排出量削減に貢献しています。
- (4) ガス業界としては、(社)日本ガス協会に参画して環境情報の収集と環境施策の展開を図り、業界をリードするよう努めています。
- (5) 中部地区における協働の一環として「環境パートナーシップ・CLUB」に参画し、社会貢献活動を中心に活動を行っています。

今後の課題としては、廃棄物ゼロエミッション化の検討・推進・CO₂排出量削減のより一層推進等があげられ、エネルギー供給者として、地域への貢献を更に進めたいと考えています。

以上

提出意見

名古屋 2 2

氏名：萩原 喜之

性別：男

勤務先等：(特定非営利活動法人) 中部リサイクル運動市民の会

発表を希望される開催地：名古屋

意見：

中部地区に環境パートナーシップの拠点を。

P F I 方式で名古屋市の生ゴミリサイクルシステムを。

中部地区にプラスチックの経済循環システムモデルを。

提出意見

名古屋 23

氏名：めいきん生協 常任理事 松田 富佐子

性別：女

勤務先等：めいきん生協 非常勤理事

発表を希望される開催地：名古屋市（愛知県水産会館）

意見：

めいきん生協の意見として以下の要旨で発表したく応募します。
組合員の願いである「食の安全・安心」は、環境問題とは切っても切れない関係にある。

誰でも出来るくらしの中での活動として、NO₂測定、環境家計簿、買い物袋持参運動、リサイクルなどの取り組み、地球温暖化、遺伝子組み換えの環境への影響、ダイオキシンなどの学習、リサイクル関連施設の見学など多彩に取り組んでいる。事業面では、ISO14001取得、循環型社会に貢献する事業を目標に、環境保全型の商品づくり、容器包材の減量や塩ビの全廃、農薬や化学肥料を減らす自主基準、容器や配布物のリサイクル、店舗の生ごみの資源化など環境負荷低減と資源循環の輪を広げるシステムづくりに取り組んでいる。

名古屋市や他団体などとの協働の推進、市民サイドでの活動の生かし方、どう広げていくか課題もあるが期待もある。